

カスリーン台風被害写真パネル展の開催について

建設部道路維持課

地域の方々に水害の恐ろしさ、防災、避難の重要性を認識していただくことを目的とする効果的な広報・啓発活動を実施するため、本市も参画する全49市町村から構成する「利根川上流カスリーン台風70年実行委員会」を設立しました。現在、利根川上流カスリーン台風実行委員会構成自治体においてパネル展を開催しており、本市では伊勢崎市図書館において「カスリーン台風被害写真パネル展」を開催します。

記

- 1 日 時** 平成29年9月1日（金）～平成29年9月17日（日）
午前9時～午後5時
- 2 場 所** 伊勢崎市図書館 2階資料展示室
（住所：伊勢崎市曲輪町22-21、TEL：0270-23-2346）
- 3 内 容** 国土交通省のパネルや本市独自の被害状況パネルの展示を行うほか、防災グッズ等の展示を行い、水害の恐ろしさや防災、避難の重要性の再認識とカスリーン台風の教訓を次世代に継承するためのきっかけ作りを担っています。

◇降雨体験

最終日の17日（日）には図書館駐車場東側にて降雨体験車を用意し、来館者に豪雨を疑似体験してもらいます。

◇防災月間特設コーナー

9月は防災月間に当たるため、災害と防災に関する蔵書を1階一般資料室（カウンター前の特設コーナー）に展示します。

※「カスリーン台風」

昭和22年9月16日、カスリーン台風による降雨は、戦後最大の洪水となり、埼玉県側（現・加須市）では堤防が最大約350mも決壊し、濁流が東京都江戸川区まで流れ、甚大な被害をもたらしました。本市においても、広瀬川および粕川で堤防が決壊し、橋や家屋の流失、床下・床上浸水等未曾有の大水害となりました。